学校だより

福島県立大笹生支援学校
NO.4　R7.3.3

今年度を振り返って

保護者の皆様、地域の皆様、大笹生学園及び関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

１年を振り返り、子どもたちにとって日々の学習の積み重ねや繰り返しが成長につながっていることと思います。毎日同じ繰り返しに見えるようですが、その時の子どもたちの状態や学習環境の状況に応じて先生方は工夫しながら授業を行っています。知識や技能を習得し、さらにそれを活用することができるよう、様々な場面を設定することで、その力を発揮することができます。できることが少しずつ増えていくことで「学ぶ意欲」が高まりさらに成長することが期待できます。

また、学校生活において大切なことは、集団で生活することです。小さな集団、大きな集団、多様な集団がありますが、どの集団も子どもたちが成長するのに必要な集団があります。他の人と接することでその思いや考えを知り、自分と違うことを認識することで自己理解が進みます。多様性を認め合う今の時代に必要なことでもあります。これらが相まって生きる力へとつなげています。

今後も、「地域と共に学び、共に生きる」学校を推進して参りますので、どうぞよろしくお願いします。

大笹生支援学校長　西牧　辰典

小学部

２月１２日（水）に「卒業おめでとう会」を行いました。6年生への「おめでとう」や「ありがとう」の気持ちを込めて、在校生が準備し、会を進行しました。6年生は思い出や中学部で頑張りたいことなどを発表し、卒業への気持ちをしっかりと伝えていました。在校生が制作した記念品を贈呈したり、みんなで手をつないでダンスをしたりして、かかわりながら楽しく活動し、温かい会となりました。

中学部

１月１５日（水）に第3回中学部学部集会を実施しました。3回目の活動内容は、生徒へのアンケートの結果、モルックに決まりました。学級や学年を超えたチームの中で、励まし合ったり、どこを狙って投げるか作戦を立てたりする姿が見られ、多くの生徒が笑顔で活動に取り組むことができました。生徒一人一人の実態に応じた「自分から進んで人とかかわる力」や「認め合う力」が、身についていることを実感できる活動となりました。

高等部

２月１３日（木）に、高等部卒業生を送る会が行われました。新生徒会役員の生徒たちが中心となり運営をし、学年ごとに映像やダンス、歌などの出し物で3年生に感謝の気持ちを伝えました。また3年生からは、家族や友達、先生などに向けて一人ずつメッセージを大きな声で発表する場面があり、とても感動的な素晴らしい発表となりました。また、会場の体育館は華やかな装飾などで卒業を祝う在校生の気持ちが表れ、心温まる会となりました。

（学校だよりは HP からもご覧いただけます。QR コード）

進路指導

１月１０日（金）に、県北障害者就業・生活支援センターの方を講師に招き、3年生の企業就労希望者対象の「ライフキャリアセミナー」を開催しました。お金の管理や SNS の使い方についての話を聞きました。卒業後のお金の管理について考えたり、安全に過ごすために気を付けることについて真剣に話を聞いたりする姿が見られました。

公開研究会

令和6年１２月に第7回公開研究会を行いました。地域の小・中学校や特別支援学校、大学から多くの方にご参加いただき、授業の公開や学校概要説明、分科会を通して、本校の取り組みを知っていただくとともに、より良い授業づくりのための話し合いを深めることができました。また、教育講演会では独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 丹野哲也先生にご講演いただきました。今回の研修会で得たことを日々の実践に活かしていきたいと思います。

校内研修

月に一回程度研修日を設け、授業づくりについて学び合いました。自立活動での生徒の課題を抽出して指導した事例や、地域との協働活動を積極的に取り入れた事例など、児童生徒の資質・能力を育成する充実した取り組みが共有されました。研修を通して、教員は授業改善の視点を学び、特別支援教育の専門性の向上を目指しています。

情報教育

ICTの活用が進む本校では生徒一人一人がタブレット端末を持ち、授業で活用しています。Teams 等のコミュニケーションアプリを使い、資料をタブレット端末で共有したり、生徒同士で意見交換を行ったりするなど、インタラクティブな学びが展開されています。また、FingerBoard をはじめとするシンプルな UI 機能をもつ学習アプリを使って、教師が生徒の様子に合わせた電子教材を作成し、様々な場面で活用しています。触れたものが動かせる、触れると反応するといった直感的で双方向的な教材が、生徒の学習意欲を向上させています。

（学校だよりは HP からもご覧いただけます。QR コード）